

## 愛知県環境影響評価審査会東部知多クリーンセンター部会会議録

- 1 日時 平成24年2月7日（火）午前10時から午前11時まで
- 2 場所 愛知県自治センター 4階 大会議室
- 3 議事
  - (1) 知多都市計画ごみ焼却場（一般廃棄物処理施設）東部知多クリーンセンター整備事業に係る環境影響評価方法書について
  - (2) その他
- 4 出席者  
委員7名、説明のために出席した職員13名、事業者6名
- 5 傍聴人  
傍聴人2名
- 6 会議内容
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ア 知多都市計画ごみ焼却場（一般廃棄物処理施設）東部知多クリーンセンター整備事業に係る環境影響評価方法書について
      - ・ 議事録の署名について酒巻部会長が、井上委員と岡本委員を指名した。
      - ・ 資料1及び資料2について、事務局から説明があった。

### <質疑応答>

【山田委員】東海豪雨の時、ポンプが故障して川が溢れたとの説明があった。このポンプは別添1のどこにあるのか。

【事業者】ポンプ場は、別添1の右上の白い建物が映っているあたりに設置されている。

過去には、五ヶ村川の右岸に豊寿新田のポンプ場があり、その上に旧五ヶ村川のポンプ場があった。現在は東海豪雨の影響を受け、その二つのポンプ場を撤去し、能力を大きくした五ヶ村川のポンプ場をその南側に新設している。

また、五ヶ村川左岸には境川に水を流す送水管が埋設されている

【山田委員】五ヶ村川から境川に水を流しているということによいか。

【事業者】五ヶ村川は断面積が少なく、多量の雨が降ると五ヶ村川では受けきれないので、境川に水を流すことになっている。

【山田委員】能力を強化した新しいポンプ場について、これにより東海豪雨並みの雨が仮に降った場合でも、このあたりは浸水しないと考えてよいか。

【事業者】そういうことも考慮した新しいポンプ場だと聞いている。

【山田委員】底生動物の任意採集法について、方法書では、タモ網等を使うとしているが、具体的にはどのように行うのか。

【事業者】タモ網で現場に応じて実施することを考えている。

【山田委員】実施の時に川底にある大きな石に付着している底生動物も採集するということでよいか。

【事業者】採集する。

【酒巻部会長】先ほどの洪水対策の指摘だが、これは今回の事業で実施するというよりも、この地域の洪水対策として実施すればよいという整理でよいか。

【山田委員】もしまた浸水するおそれがあれば対策の必要があるかと思い聞いた。

【酒巻部会長】どちらかという地域全体に係る話だと思う。

【山田委員】私もそうだと思う。

【岡本委員】東海豪雨の時に、東浦町の事業実施区域の南方向にある水田のあたりが水に浸かったようだが、ここら辺は遊水池となっているのか。

また、事業実施区域の左右には住居が並んでいるが、住宅が建っている高さはどれぐらいか。

最後に、先ほど当該地域で洪水が起こらないようにポンプ場を造ったという話について、それ以外に事業実施区域の土地を高くする等の個別の対策は行われるのか。

【事業者】事業実施区域の南側の水田についてだが、水田が水を受けてゆっくり流すような効果もあるかと思うが、水害対策のために利用されているということではない。

クリーンセンターの北側に大府新田地区があるが、ここは道路と同じ高さで家が建っていて、東海豪雨時に2 mぐらい水位が上がったため水害にあった地域である。そのため、今は住宅の建てかえの際に、土地を嵩上げしているところもある。

クリーンセンターの建設にあたっては、東海豪雨の経験から現在高よりも盛土し、嵩上げしたいと考えている。また、方法書のとおり、雨を溜める貯留槽や透水性の舗装などを整備するとともに、東海豪雨で電気室が水に浸かったので、電気室や主要な機器については上階に設置する対策を考えている。

【酒巻部会長】水害対策はそれ相応の対策がとられるということだが、今回は環境対策ということで部会報告には盛り込まないということになるかと思う。

【井上委員】部会報告案の全般的事項（3）についてだが、これからもごみ処理施設の更新事業が多く出てくると思う。そのような時に、撤去及び廃棄についてもその一部として予測・評価することをもう少し強く求めることはできないか。この書き方だと準備書作成までに具体的に撤去計画を策定しなければ実施する必要はないと読めてしまう。事業の一部をどのように考えるべきか。

【事務局】当該事業については、新たに建てる施設と一体となって現状の施設が撤去される場合には対象とすべきである。しかし、撤去の意思決定が行われていないとか、いつの時点で撤去が行われるか等が決まっていなかった場合は、一体として見なせないと考えられる。したがって、現時点では現有施設を今後どうするかという意思決定が行われていないということだが、今回の整備事業に

合わせて解体・撤去が行われることが明らかになった場合には、当然環境影響評価の対象とされたいという趣旨で部会報告案に盛り込んでいる。

【井上委員】事業者が解体・撤去の環境影響評価を実施したくないと考えた場合は、一体の事業とせずに、先に建物だけ造ってその後に解体・撤去の計画を策定すれば、それに関してアセスをしなくても良いということか。

【事務局】事業者が環境影響評価を避けるために解体・撤去の計画を定めないというのは、理論的には可能かもしれないが、それを助長する意図はない。実態として解体・撤去の計画がはっきりとしていない段階で、それについてアセスを行うことに無理があるのかと思う。そのあたりは、事業者の計画を見て判断することになるのかと思う。

【井上委員】個人的には解体・撤去に係る評価を一体として行うように要請したほうがよいと思う。

【酒巻部会長】解体・撤去についても環境影響評価が行われるのが望ましいとは思いますが、今回の部会報告でそこまで盛込むかべきかどうか。

【事務局】将来的に解体が見込まれる建築物について、今回の整備事業と一体の事業とするよう要請してはどうかとのご意見をいただいた。お気持ちは理解できるが、一般にごみ処理施設の建設をする際は、市町村や一部事務組合が交付金の交付を受けて建設事業を行う。その時に具体的に計画がない建築物の解体費用も含めて交付金を受けるのは制度的に難しいと考えられる。今ある建物を解体した跡地に、新たな建物を造るのであれば、解体の必然性を説明できるが、そのような理由がない場合であっても、事業の一部として解体を必ず含めるように取り扱うことは難しい面もあるかと思う。

【武田委員】事業実施区域の東側では五ヶ村川と横根川が並走していて、また、南側では石ヶ瀬川と大府新川が並走しているが、どちらかが用水路でどちらかが農業用の水路なのか。これらの河川が、どのような経緯で造られたのか教えていただきたい。例えば石ヶ瀬川の護岸はススキやつる植物等が繁茂しているということだが、人工的な感じがする。河川によって用水路と排水路の違いがあれば、生息する底生生物の違いがあるのではないか。その場合大きな河川だけを調査することがふさわしいのか。

また、調査地点について川に合流する前と合流した後の違いを比較するために調査地点を選んでいるのかどうか教えていただきたい。

【事業者】石ヶ瀬川は大府市内の雨水を受けて境川に流れる川である。大府江川は、昔事業実施区域が水田であった時にここに水を引くための川であった。横根川も水田に水を引くために使われていた。五ヶ村川は、豊明市から大府市、東浦町に抜けて境川に合流している川であり、これは五つの村を通ったことから五ヶ村川という。人工的に造られた川は五ヶ村川だと聞いている。

【事務局】調査地点について、どのように考えるかというご指摘であるが、方法書224ページの調査地点図で、右側の黄色の丸が大府江川の調査地点である。ここは放流の影響を受ける可能性があると考えられる地点として設定しており、この地点を調査して、まず現在の状況を把握する。そして、今後事業者が検討する工事計画の排水や供用時の生活排水の影響を受けた時に、当該

地点の動物に影響があるかを予測する。また、周囲の河川の状況を把握するために石ヶ瀬川が調査地点に設定されているが、前回部会での山田委員のご指摘を踏まえ、五ヶ村川でも調査することを求めることとした。

【武田委員】石ヶ瀬川には、市内からの雨水が流されているということなので、大府新川と水質が違うことから、それにより生息できる生物が異なってくるのであれば、そのあたりを調べる必要があるのではないかと。

【酒巻部会長】山田委員、その点はどうか。

【山田委員】残念ながら現地調査に行けなかったが、撮影された写真から判断する限りでは、石ヶ瀬川は生物があまり多くいそうな雰囲気はない。この中で一番生物がいそうなのは、片側にヤナギの系統だと思われるものが生えており、木が茂っていて、コンクリート護岸でもない五ヶ村川だと思う。その隣を流れる横根川は写真では良く分からない。

【武田委員】大府新川の水源についてだが、石ヶ瀬川と異なるのか。

【事業者】両河川とも大府市内で降った雨水と排水が流入する川である。石ヶ瀬川は大府市内の南側でかなり広範囲に雨水と排水が流入する川である。大府新川は大府駅西側のあたりから流れてくる排水と雨水が流入する川である。雨水の集水面積としては大府新川は小さい川で、普段はほとんど水が流れていない。石ヶ瀬川は大きな河川で常時水が流れている河川である。

【酒巻部会長】大府新川は現地調査に行ったときほとんど水が枯れていた。生物相に関しては評価対象にならないのではないかと。

【山田委員】この地域にホタルはいるのか。

【事業者】この辺に水田や川があるが、ホタルを見たことはない。

【酒巻部会長】部会報告案について、修正をする必要はないか。特段なければこの案を部会報告としたいが、よろしいか。

(委員から意見等はなし)

- ・ 資料2の「知多都市計画ごみ焼却場（一般廃棄物処理施設）東部知多クリーンセンター整備事業に係る環境影響評価方法書に関する部会報告（案）」をそのまま部会報告とすることです承された。

#### イ その他

- ・ 事務局から特にない旨の発言があった。

### (3) 閉会